

きらり治田

成年新春号

発行日2018/02/05

目次:

失敗を恐れず一步一步確かな歩みを!	1
1年の計は元旦にあり	2
ネパールに木を植えよう	2
熱烈歓迎!台湾北成國民小学のお友達24名が訪れました!	3
今月のほっこり!	4
スキー教室無事開催!	4

治田の1月

明けましておめでとうございます。(大分遅いですが...)本年もよろしくお願ひします。

いよいよ平成30年もスタートです。学校でもあと3年で、新学習指導要領の開始となり、来年度から外国語活動を中心に移行措置に入ります。

保護者の皆様には今年も変わらぬご支援、ご協力よろしくお願ひいたします。

失敗を恐れず一步一步確かな歩みを!

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

2018年1月5日に、南極点までの1,126kmを無補給単独徒歩で達成した冒険家の話をします。荻田泰永さんです。荻田さんは2000年から18年間で北極に15回も行き、9,000kmもの道のりを冒険しました。北極では氷点下56 という過酷な環境も体験したのです。その経験を活かしたものになりました。

荻田さんは、2017年11月15日に南極大陸のユニオン氷河キャンプにつき、その後スタート地点に移動して、2017年11月17日午後3時30分(現地時間)に南極点へスタートしました。そして50日間で、1,126kmの南極点に2018年1月5日午後1時45分に到達したのです。

1,126kmはどれくらいの長さかというと、治田小学校から遠い距離の家に住むお友達(2km)が、4月から3

月までの1年間と、4月から7月までの1学期の期間(283日間)に学校へ通った長さになります。その長さを50日間で歩いたのです。

荻田さんは次のように話しています。「一步を積み重ねていけば、遙か遠く、どんなに遠くにも行けることは今までの経験から学んだ。失敗から学んで、よし もう1回やってやるぞという気持ちで挑戦していくと必ず大きな結果になることを信じて小さな一步を積み重ねていく。自分のやったことはたいしたことではない。目の前の一步を歩いてきただけ、あきらめないで、妥協しないで、ただ一步一步を踏み出してそれを繰り返していた。」

この1年、計画を立てて、失敗を恐れず、一步一步を確かな足取りで歩いていきましょう。毎日の積み重ねですね。



1年の計は元旦にあり

3学期始業式では、3人のお友達から、新年の決意を発表してもらいました。

2年生の長坂さんは、「学習発表会に向けて張り切ってやること。漢字を覚えて字を丁寧に書くこと。大きな声で挨拶をすること。」

3年生の鍛冶さんから、「大熊さんから教えていただいたコカリナをふけるようにしたい。算数では

準備をしっかりと取り組むたい。」

6年生の傳田さんからは、「卒業に向けて、復習をしっかりと勉強をがんばる。児童会の委員会の引継ぎをする。そうじをしっかりと後輩たちに引き継ぎたい。」でした。どのお友達も素晴らしい新年の決意でした。皆さんはどんな1年にしたいですか！



新年の決意を発表する。(左から)長坂さん、鍛冶さん、傳田さん

ネパールに木を植えよう！

児童会の国際ボランティア委員会では、通年の活動として、牛乳パックの回収があります。

11日の委員会の時間に、NGOカトマンドゥの笠井雪子さんお見えになり、ネパールに木を植える活動を中心にお話をお聞きました。

地下資源にある石油はあと、60年で底をつく。だから資源を大切にすることもお話ししていただきました。

ネパールに牛乳パックの回収で替えた苗を植え、現地の人たちの生活を助けたり、自然環境を整えたりすることを目的としていること。



国際ボランティア委員にお話をしてくださった笠井さん
手に持っているのは、現地の水がめです

Q スーパーのレジ袋1枚を作るのに、石油はどのくらい必要ですか？

- ①おちょこ一杯 (20cc)
- ②スポイト1滴
- ③小さじ一杯 (5cc)

(笠井さんのお話より)

1年後に日本では100本植えると97本残るのが、ネパールでは1000本植えても5本しか残らない。そんな厳しい環境に対応するために、苦労を重ねてきていること。

1990年では450ヘクタールで3,000本の木が、2014年には、790ヘクタールに51万6千本の森になってきていることなどお聞きました。

笠井さんは24年間この活動を行っています。

「現地の方々の笑顔に勇気もらっています。牛乳パックを集めてくれる若い皆さんからもエネルギーもらっています。」こんな気持ちで活動を続けて下さっています。

「ひとりの100枚より100人の1枚」
この広がりを大切にしましょう。

熱烈歓迎！台湾北成國民小学のお友達24名が訪れました！

1月26日(金)に、雪の心配はありましたが、ほぼ時間通りに本校に北成國民小学の音楽科の24名の皆さんと先生や保護者の皆さん総勢44名が到着しました。

音楽交流は4年生から6年生の高学年の子どもたちと、金管バンドの皆さんとで行われました。

北成國民小学の皆さんの弦楽器中心の音色や、歌を歌う表情のすばらしさに触れて、本校の子どもたちも今ま

で以上に気持ちよく演奏や歌を交流することができました。

後半は、4年生から6年生の学級に各4人が入り、自己紹介やお正月の遊びを一緒に行うことで交流することができました。

給食を会議室でまとめて食べました。この日のメニューは日本風でしたが、残すことなくしっかりと食

べていました。

土曜日には、金管バンドと一緒に1時間ほどパート毎に自己紹介や音だし、双方の演奏を聴きあいながら交流ができました。

この交流を通して、お互いのすばらしさに触れながら大きく成長できたと思います。



雪をバックに(左から)林國樑PTA会長さん、塩野入、簡信斌校長先生、洪逸馨教頭先生

U&Iを中国語、英語、日本語で全体で歌いました！



学級のアイデアで交流ができました



最後は低学年のお友達も交えてみんなでお送りしました！

台湾の皆さんの凄ところはたくさんあります。1つめに音色です。高い音と低い音がきれいにでていたので凄いなと思いました。…2つめに話を聞く姿勢です。全員聞くときに姿勢を良くして話をしている人を見て聞いていました。..

(金管バンド交流でお土産をもらいました)

袋の中を見ると台湾のお菓子と手紙が入っていた。手紙は丁寧に日本語で書いてあった。台湾の人よりもぼくたちの方がたのしんだ気がした。

(金管バンドの子どもたちの感想より)



今月のほっこり！

年度末より久保先生が放課後の校外巡視をしています。しばしば、下校しながらの雪投げ等、気になることがある中で、10日には次のようなあったかい報告がありました。

「6年のA君が1年生の子たちを連れて、治田町の信号機のない県道の横断歩道を手を挙げて渡らせていました。横断途中に、A君は停まってくれた車にしっかりと顔を向けてお辞儀をしていました。それを見た1年生の子たちもお辞儀をしていました。(私は3台ほど後ろにいましたが)とてもすがすがしい礼儀正しい姿に感動しました」

6年生のA君、高学年の姿を素直に受け入れている1年生の子どもたち

治田の子どもたちは素晴らしい感性を持っています！

(教頭先生が作ってくださっている日報より抜粋)

千曲市立治田小学校

千曲市稲荷山1360

電話 026-272-1054

FAX 026-272-4644

Mail harutasho@school.chikuma-ngn.ed.jp

文責 塩野入 崇(校長)

ホームページもご覧下さい

<http://www.chikuma-ngn.ed.jp/~harutael/>

スキー教室無事開催！

前日までのインフルエンザが気になりましたが、広がることもなく無事スキー教室が開催できました。

往路は小雨交じりですっきりとしない天気でしたが、到着した頃にはうっすらと日が差し込んできました。

指導員の先生、担任、引率の先生方の指導でぐんぐんと上達しました。

終わった後の笑顔が輝いていました。

(教頭先生から)



スキーのレベルごとに班に分かれてスキーを楽しみました



昼食はレストランで学年ごとにカレーを食べました

